



竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

自分の意見や感想を進んで言う



登校時には氷点下、校長室前廊下は何と「8℃」を指しています。北風が吹き荒れる日も。しかし、竜美っ子は仲間と共に熱く日々生活しています。「寒い！」とついついこぼしてしまうのは私だけかも。毎日、運動場は歓声でいっぱいです。

16日(火)実施の授業参観、校内書写作品展に多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。今年度、「授業で輝く姿」を教職員一丸となって追い求めて研究・研修を重ねてきました。お子様の様子はいかがでしたでしょうか。



さて、2学期末に実施した「令和5年度学校教育診断アンケート」の集計結果が出ました。保護者の皆様、ご協力に感謝です。左下のよう、活動の制限なくなり、多くの教育の復活や見直しを進め、子供たちの協働的な生活による結果であると分析できます。

また、今回新設項目①②から、子供、地域に理解を得ました。

- ① 「自主勉強」について学習内容や学習方法などを自分で考え、取り組んでいる・・・80.5% (A39.2+B41.2)
- ② 「ノー宿題デー」について、自分で考えて勉強したり、体を休めたりと有効に活用している・・・88.6% (A58.8+B29.8)



※Aあてはまる、Bどちらかと言えばあてはまる

私が特に注目したのは、「授業では、自分の意見や感想を進んで言う」ようにしている」の結果についてです。

ア A+Bで64.3%・・・実は、昨年度比-1.0P

イ C「どちらかと言えばあてはまらない」=21.4%

みなさんは、どう分析されるのでしょうか。制限がなくなり対話的な学びも積極的に取り入れているのは事実であり、授業は分かりやすい(児童)「89.8%」、(保護者)「81.8%」と答えています。このズレはどこからくるのでしょうか?対策、対応が必要です。



イ「C」を含めすべての竜美っ子が、この多様性の社会を生き抜く力をつけて輝けるように私たちは研究を深めていきます。

「令和5年度学校教育診断アンケート」より一部抜粋

※令和4年度比 +2P以上の項目から

○児童(四く六年生)

◎自分で進んであいさつや返事ができる。

◎授業や行事などの中で、地域の人から学ぶ機会がある。

○保護者

◎学校は、保護・地域の要望や願いに応えようと努力している。

◎学校は、環境教育やボランティア教育に力を入れている。 ※生活科・総合的な学習・委員会活動